

令和8年4月入学

奈良女子大学大学院
人間文化総合科学研究科（修士課程）

学 生 募 集 要 項

〔工学専攻〕

〔一 般 選 抜〕

〔社 会 人 特 別 選 抜〕

〔外国人留学生特別選抜〕

〔注〕 以下に該当する者は、その者を対象とする
学生募集要項により出願してください。

奈良女子大学の学部・大学院6年一貫教育プログラム
に選抜された者

令和7年9月

奈 良 女 子 大 学 大 学 院

人 間 文 化 総 合 科 学 研 究 科

〒630-8506 奈良市北魚屋西町

Tel 0742-20-3023(入試課)

E-mail nyusika@jimu.nara-wu.ac.jp

目 次

I	奈良女子大学大学院人間文化総合科学研究科アドミッション・ポリシー	1～2
II	募集人員・出願期間・試験期日等	3～5
	1. 募集人員 (3)	
	2. 出願期間・試験期日・合格発表日等 (3～5)	
	①出願について (3)	
	②選考方法について (4)	
	③合格発表について (4)	
	④入学料及び授業料について (4)	
	⑤入学手続について (4)	
	⑥長期履修学生制度について (4)	
	⑦出願の前に相談や手続が必要な場合について (4～5)	
	⑧学生募集及び指導希望教員の問い合わせ先について (5)	
III	修士課程の目的及び修了要件等	6
	1. 目的	4. 進学
	2. 標準修業年限	5. 修士課程修了者が取得できる学位
	3. 修了要件	
IV	出願資格	6～7
	1. 一般選抜 (6)	3. 外国人留学生特別選抜 (7)
	2. 社会人特別選抜 (7)	
V	出願書類・試験科目等	8～9
VI	工学専攻の担当教員等	9

[本学所定の用紙]

入学志願票

検定料納付確認書・受験票・写真票

検定料払込用紙

宛名票

I 奈良女子大学大学院人間文化総合科学研究科アドミッション・ポリシー

奈良女子大学大学院人間文化総合科学研究科は、個々の学問領域における専門的な教育研究を推進するとともに、それを基盤として新たに学際的な教育研究を創出することによって、個性豊かで自立した研究者や高度な専門職業人を育成することを目指しています。そして、このような分野から女性リーダーを輩出することによって、男女共同参画社会の実現や国際社会に貢献したいと考えています。

以上のような理念に基づき、次のような人を、国内外から広く受け入れます。

- ・ 学士課程あるいは修士課程・博士前期課程や社会人経験などを通して、大学院教育を受けるために必要となる基礎知識や技能を身につけた人
- ・ 基礎となる専門領域を最先端まで探究しようとする人
- ・ 現代における諸問題を学際的に深く探究しようとする人
- ・ 専門的知識を再構築する意欲や解明したい問題に自ら取り組む意欲をもつ人
- ・ さまざまな分野でアジア諸国をはじめとして国際社会に貢献することを目指す人

※年度途中で変更する場合、以下の本学ホームページでお知らせします。

大学院人間文化総合科学研究科ホームページ（三つのポリシー）

https://www.nara-wu.ac.jp/daigakuin/policy_ad_h30.html

大学案内ホームページ（三つのポリシー）

<https://www.nara-wu.ac.jp/nwu/intro/3policies/>

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

工学専攻

【教育理念】

本専攻では、人と自然が調和した豊かな社会を実現するために、高度な専門能力，ならびに異分野への理解力と高い倫理感を兼ね備えつつ，時代の流れに即した科学技術の発展に資する人材の育成を目指します。

【求める学生像】

上記の理念に基づき，工学専攻のディプロマ・ポリシーである「主体性，専門性，社会性」をそれぞれさらに細分化した学修成果を修得するためのカリキュラム・ポリシーに基づいて配置する科目を履修できる能力を備えた，次のような入学者を求めます。

- ・工学専攻が掲げる理念に共感し，これを実現しようとする意欲を有する人
- ・専門分野において課題を設定，解決するのに必要な基礎知識を有し，それを踏まえた論理的思考力を有する人
- ・自分の専門分野のみにとらわれず，異分野の理解に努め，互いに協力して科学技術の発展に取り組む意欲に満ちた人
- ・自らが国際社会の一員であることの自覚を持つ人

Ⅱ 募集人員・出願期間・試験期日等

1. 募集人員

専攻名	募集人員		
	一般選抜	社会人特別選抜	外国人留学生特別選抜
工学専攻	25名	若干名	若干名

※ 一般選抜の募集人員には、社会人特別選抜及び外国人留学生特別選抜の各募集人員若干名を含みます。

2. 出願期間・試験期日・合格発表日等

専攻名	出願期間	試験期日	合格発表日
工学専攻	令和7年10月10日(金) 〃 令和7年10月16日(木)	令和7年11月8日(土)	令和7年11月21日(金)

※ 合格発表の時刻は、午前10時です。

① 出願について

- ・出願受付場所 奈良女子大学入試課（大学院F棟1階）
〒630-8506 奈良市北魚屋西町
TEL 0742-20-3023

【持参する場合】

出願期間内の土・日・祝日を除く午前9時から午後5時までの間に、奈良女子大学入試課に持参してください。

【郵送する場合】

送付する封筒に「修士課程入学志願書類在中」と朱書きし、**出願期間内に必着**するよう、必ず**簡易書留速達郵便により郵送**してください。ただし、受験しようとする試験期日に対応する出願期間最終日の前日までの日本国内の受付局日付印のある場合は、出願期間後であっても受理します。

・出願にあたっての注意事項

- （1）出願にあたり入学後の研究内容について、指導を希望する教員が所属する大学の入試課を経由して、指導希望教員に事前に確認してください。
奈良女子大学入試課
TEL 0742-20-3023
E-mail nyusika@jimu.nara-wu.ac.jp
- （2）出願書類等は、出願の都度提出が必要です。
- （3）出願書類等に不備がある場合には受理しませんので、出願書類等を確認の上、出願してください。
- （4）出願書類等を受理した後は、出願書類の追加、変更及び返却は認めません。
- （5）出願書類等に虚偽の記載をした場合又は虚偽の書類を提出した場合は、入学後でも入学を取り消すことがあります。
- （6）払い込んだ検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。
 - ① 検定料を払い込んだが、出願しなかった場合又は出願が受理されなかった場合
 - ② 検定料を誤って二重に払い込んだ場合
 なお、上記①又は②に該当する場合には、奈良女子大学入試課に連絡してください。
TEL 0742-20-3023 E-mail nyusika@jimu.nara-wu.ac.jp
- （7）（6）により検定料を返還するにあたっては、本学所定の方法により返還します。なお、返還には相当の期間を要しますので、あらかじめご承知おきください。
- （8）企業等に在職している者は、勤務先の就業規則等の規定により必要な場合は、あらかじめ受験の許可を受けてください。
- （9）大学が取得した氏名、成績及び学修状況等の個人情報、入学後の修学指導並びに学生生活支援のために必要な範囲内で利用することがあります。

② 選考方法について

入学者の選抜は、本学が実施する試験の成績及び出願書類等を総合して行います。

③ 合格発表について

合格者受験番号一覧を本学ホームページ (<https://www.nara-wu.ac.jp/nyusi/goukaku.html>) に掲載するとともに、合格者には合格通知書を郵送します。必ず合格通知書をもって確認してください。電話等による可否に関する照会には一切応じられません。

④ 入学科及び授業料について

入学料 282,000 円〔予定額〕

授業料 267,900 円（年額 535,800 円のうち半期分）〔予定額〕

※ 1 入学者の入学料、授業料については、改定されることがあります。

※ 2 在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から改定後の授業料が適用されます。

※ 3 平成 16 年度から、事情に応じて標準修業年限を超えて計画的に履修する「長期履修学生制度」を導入しています。長期履修を認められた学生の授業料は、認められた履修期間に応じて授業料年額が異なります。

※ 4 入学時には、上記入学料、授業料のほか学生教育研究災害傷害保険料など若干の経費が必要です。

⑤ 入学手続について

入学手続の時期及びその他詳細については、合格通知と併せて通知します。

⑥ 長期履修学生制度について

職業を有している、あるいは育児、長期介護、病気等により、一般の学生に比べて研究活動・学習活動への時間数が限られるため、標準の修業年限（修士課程の場合 2 年）で修了することが困難な学生を対象に、事情に応じて標準修業年限を超えて計画的に履修する「長期履修学生制度」を導入しています。この長期履修学生として認められた場合の授業料は、標準の修業年限（2 年）に支払う授業料の総額（535,800 円×2 年＝1,071,600 円）を、認められた長期履修の期間の年数で支払うことになります。

この制度による履修を希望する者は、本学ホームページ (<https://www.nara-wu.ac.jp/nyusi/tyoukirisyu1.html>) を参照の上、申請書類を提出してください。

出願書類の提出と併せて行う場合

合格者には審査結果（可否等）を合格通知と併せて通知します。これを希望する者は入学志願書類と共に、申請書類を提出してください。

なお、「長期履修学生申請書」は本学ホームページ

(<https://www.nara-wu.ac.jp/nyusi/tyoukirisyu1.html>) からダウンロードしたものを使用することができます。申請書をダウンロードできない場合には、入試課（E-mail nyusika@jimu.nara-wu.ac.jp）に連絡してください。

また、長期履修学生の申請並びに審査結果は、入学者選抜の可否に影響するものではありません。

⑦ 出願の前に相談や手続が必要な場合について

(1) 教育方法の特例措置について

「大学院設置基準第 14 条に定める教育方法の特例」の制度に基づき、本学では入学時又は入学後において学業に専念できない事情を有する者に対して、教育上特別の必要があると認められる場合で、かつ、受入側である専攻の事情や教育環境が許す場合には、その者の事情を考慮し、夜間その他特定の時間又は時期（夏季休業など）において授業又は研究指導を行います。

この制度の適用を希望する者は、出願に先立ち、入試課を経由して志望する専攻（コース）の教員に必ず相談してください。

(2) トランスジェンダー女性（MtF）の出願について

奈良女子大学大学院では、戸籍などの法的な性別だけでなく、自らの性自認に基づいて「女子」として女子大学で学ぶことを希望する人を令和 3 年度より受入れています。性自認が女性であるが法的な性別がそれとは異なる場合には、原則として出願受付開始の 1 ヶ月前までに下記の相談窓口までメールで申し出てください。出願を希望する場合は、面談により、出願資格の確認及び入学後の学生生活に関する相談を行います。なお、面談の申請及び面談にかかる秘密は守られ、出願後、面談の内容によって、合否判定の際に不利に取り扱われることはありません。

トランスジェンダー受入相談窓口

E-mail tgsoudan@cc.nara-wu.ac.jp（電話番号なし）

(3) 受験上等の配慮について

病気・負傷や障害等のために、受験上及び修学上配慮を希望する場合は、事前に入試課に相談の上、出願受付開始の2週間前までに所定の手続きをしてください。相談は、電話、FAX、メール等いずれの方法でもかまいません。

また、出願後に不慮の事故等により、同様に配慮を希望するに至った場合には、直ちに入試課へ申し出の上相談してください。

必要に応じ、本学において志願者又は介護者等その事情を説明できる者あるいは志願者の学校関係者等と面談を行うことがあります。

奈良女子大学入試課

〒630-8506 奈良市北魚屋西町

TEL 0742-20-3023 FAX 0742-20-3354

E-mail nyusika@jimu.nara-wu.ac.jp

なお、配慮の対象となる者は、次表のとおりです。

配慮の対象者

区 分	対 象 と な る 者
①視 覚 障 害	・点字による教育を受けている者 ・両眼の矯正視力がおおむね0.3未満の者のうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度の者 ・視力以外の視機能障害が高度の者のうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度の者 ・上記以外で視覚に関する配慮を必要とする者
②聴 覚 障 害	・両耳の平均聴力レベルが60デシベル以上の者 ・上記以外で聴覚に関する配慮を必要とする者
③肢体不自由	・体幹の機能障害により座位を保つことができない者又は困難な者 ・両上肢の機能障害が著しい者 ・上記以外で肢体不自由に関する配慮を必要とする者
④病 弱	・慢性の呼吸器疾患、心臓疾患、腎臓疾患、消化器疾患等の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度の者又はこれに準ずる者
⑤発 達 障 害	・学習障害、注意欠陥多動性障害、自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害等のため配慮を必要とする者
⑥そ の 他	・①～⑤の区分以外の者で配慮を必要とする者

⑧学生募集及び指導希望教員の問い合わせ先について

奈良女子大学入試課

〒630-8506 奈良市北魚屋西町

TEL 0742-20-3023

E-mail nyusika@jimu.nara-wu.ac.jp

Ⅲ 修士課程の目的及び修了要件等

1. 目 的

修士課程は、広い視野に立って精深な学識を授け、専攻分野における研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要な高度の能力を養うことを目的とします。

2. 標準修業年限 2年

3. 修了要件

修士課程を修了するためには、当該課程に2年以上在学し、所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、本学大学院の行う修士論文の審査及び最終試験に合格しなければいけません。

ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については、当該課程に1年以上在学すれば足りるものとします。

※ 平成16年度から、職業を有している、あるいは育児、長期介護、病気等により、一般の学生に比べて研究活動・学習活動への時間数が限られるため標準修業年限で修了することが困難な学生を対象として、事情に応じて標準修業年限を超えて計画的に履修する「長期履修学生制度」を導入しています。

4. 進 学

本学大学院の修士課程を修了した者は、選考の上、博士後期課程に進学することができます。

5. 修士課程修了者が取得できる学位

専 攻 名	学位に付記する専攻分野の名称	学位名
工 学 専 攻	工学、学術	修士

Ⅳ 出 願 資 格

【一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜】

奈良女子大学大学院が入学資格として設定している「女子」の概念（日本国籍をもつ場合は戸籍の性別が「女性」、日本国籍以外の場合は法的性別が「女性」）には、女性としての性自認を持つトランスジェンダー女性（MtF）を含みます。

1. 一般選抜

次のいずれかに該当する女子に限ります。

- (1) 学校教育法第83条に規定する大学を卒業した者及び令和8年3月までに卒業見込みの者（注1）
- (2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者及び令和8年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び令和8年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和8年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和8年3月までに修了見込みの者
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和8年3月までに修了見込みの者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（注2）

備 考

（注1）卒業見込みで受験し、合格した者が、卒業できなかった場合は、入学を取り消します。

（注2）旧大学令による大学、各省庁組織令・設置法による大学校等を卒業した者及び卒業見込みの者並びに教育職員免許法（昭和24年法律第147号）による小学校、中学校、高等学校若しくは幼稚園の教諭若しくは養護教諭の専修免許状又は一種免許状を有する者で22歳に達したもの（令和8年3月末日までに22歳に達する者を含む。）等を示します。

2. 社会人特別選抜

・趣 旨

奈良女子大学大学院人間文化総合科学研究科では、近年の科学技術の急速な発展と社会環境の激変に伴う人間生活に係わる諸問題の研究についての社会的要請を踏まえ、優れた研究者の養成を目指すだけでなく、高度な知識や専門的能力を必要とする社会人の再教育や学習ニーズに対する需要に応えるため、社会人特別選抜を実施します。

・出願資格

次のいずれかに該当し、かつ、大学卒業等の大学院修士課程への出願資格取得後、令和8年3月末日までに**2年以上の社会経験（社会経験の内容は問いません。）を経た女子**に限ります。

- (1) 学校教育法第83条に規定する大学を卒業した者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（注1）

備 考

（注1）旧大学令による大学、各省庁組織令・設置法による大学校等を卒業した者及び教育職員免許法(昭和24年法律第147号)による小学校、中学校、高等学校若しくは幼稚園の教諭若しくは養護教諭の専修免許状又は一種免許状を有する者で22歳に達したものの等を示します。

3. 外国人留学生特別選抜

日本国の「出入国管理及び難民認定法」の定めるところにより在留資格「留学」（又は「留学」に変更できる在留資格）を有する外国人、又は入学時に取得できる見込みの外国人で、次のいずれかに該当する女子に限ります。

- (1) 学校教育法第83条に規定する大学を卒業した者及び令和8年3月までに卒業見込みの者（注1）
- (2) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び令和8年3月までに修了見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和8年3月までに修了見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和8年3月までに修了見込みの者
- (5) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和8年3月までに修了見込みの者
- (6) 文部科学大臣の指定した者

備 考

（注1）卒業見込みで受験し、合格した者が、卒業できなかった場合は、入学を取り消します。

Ⅴ 出願書類・試験科目等

・出願書類

出 願 書 類		備 考
1	入 学 志 願 票	所定の用紙
2	検 定 料 納 入 確 認 書 ・ 受 験 票 ・ 写 真 票	所定の用紙 ・ 検定料（30,000円）は、郵便局・ゆうちょ銀行で検定料払込用紙（所定の用紙）により、納入してください。納入後は、「郵便振替払込受付証明書」を検定料納入確認書（所定の用紙）の所定欄に貼り付けて、提出してください。 なお、納入手数料は入学志願者の負担とします。 ・ 出願前3か月以内に撮影した写真（縦4cm×横3cm）を受験票及び写真票の指定欄に貼り付けてください。
3	卒 業 証 明 書 又 は 卒 業 見 込 証 明 書	・ 出身大学等が発行したもの（コピー不可） ・ 大学改革支援・学位授与機構（旧 大学評価・学位授与機構）により、学士の学位を授与された者（見込みの者）は、学位授与（見込）証明書を提出すること。
4	成 績 証 明 書	・ 出身大学等が発行したもの（コピー不可）
5	TOEFL 受験者用控えスコア票 又は TOEIC（デジタル）公 式 認 定 証	・ TOEFL の場合は受験者用控えスコア票（Examinee Score Report）又は Test Taker Score Report の原本とコピー、TOEIC（Listening and Reading Test に限る）の場合は公式認定証（Official Score Certificate）の原本とコピーまたはデジタル公式認定証（Digital Official Score Certificate）をA4判で印刷したもののが必要。受験日は出願時から過去2年以内とする。ただし、試験当日から1週間前までに、原本を提出できる場合に限り、TOEFL 又は TOEIC の成績結果を Web 画面から印刷したものでも提出可能とします。その場合、簡易書留速達又は窓口への持参により原本を提出してください。 なお、1点のみ提出すること。提出された原本は受験票送付時に返却します。 ・ 団体特別受験制度（TOEFL-ITP 及び TOEIC-IP）によるスコアの提出は不可。 ・ 令和7(2025)年度実施入試については、TOEFL iBT® Home Edition によるスコア票の提出が可能。
6	宛名票（日本国内の連絡先を記入すること）	所定の用紙
7	返信用封筒（日本国内の連絡先を記入すること）	「お届け先」欄に受験票送付先を明記したレターパックプラス。「ご依頼主」欄は空欄とし、品名は「書類」と記入したものを二つ折りにして提出してください。レターパックプラスの「保管用シール」は返信用のため、はがさないでください。なお、受験票は令和7年10月22日発送予定のため、予め12桁の追跡番号を控えていただき、発送予定日の翌日から1週間以内にご自身で配達状況を確認してください。

【外国人留学生の場合の追加提出書類】

8	日本語能力確認書類	日本語能力を確認できる書類があれば提出してください。
9	住民票の写し等	現在日本に在住している外国人にあっては市区町村発行の「住民票の写し（コピー不可）【国籍・地域、在留資格、在留期間の満了の日等、記載事項の省略は不可】」を、それ以外の外国人にあってはパスポート（国籍のわかる箇所）のコピーを提出してください。

（注）出願書類のうち、英語以外の外国語で書かれた証明書には和訳又は英訳を添付してください。

・試験科目等

試験科目	試験時間	試験内容
基礎科目	9:30 ～ 10:15	工学に関する基礎的問題。
専門科目	10:45 ～ 12:15	志望する研究分野に関する問題。
口述試験	13:30 ～	研究内容を中心に行う。

※ 「専門科目」の選択方法は、Ⅵ 工学専攻の担当教員等の「専門科目」の受験についてを参照ください。

・配点

入 試 選 抜	試験科目			TOEFL 又は TOEIC ※1	計
	基礎科目	専門科目	口述試験		
一般選抜	100 点	300 点	200 点	200 点	800 点
社会人特別選抜	—	350 点	350 点	100 点	800 点
外国人留学生特別選抜	—	400 点	300 点	100 点	800 点

※1 TOEFL および TOEIC の成績は一般選抜については200点満点、社会人特別選抜および外国人留学生特別選抜に

については、100 点満点に換算する。

TOEIC と TOEFL のスコア換算は、「TOEIC テストのスコア×0.348+296=TOEFL PBT スコア」の換算式とします。

なお、主な換算表は下表のとおりです。

TOEFL			TOEIC テスト	換算後の成績 (200 点満点)	換算後の成績 (100 点満点)
iBT	PBT	CBT			
41	437	123	400	78	40
52	470	150	500	108	51
62	503	177	600	137	61
76	540	207	700	170	71
89	573	230	800	200	81

VI 工学専攻の担当教員等

「専門科目」の受験について

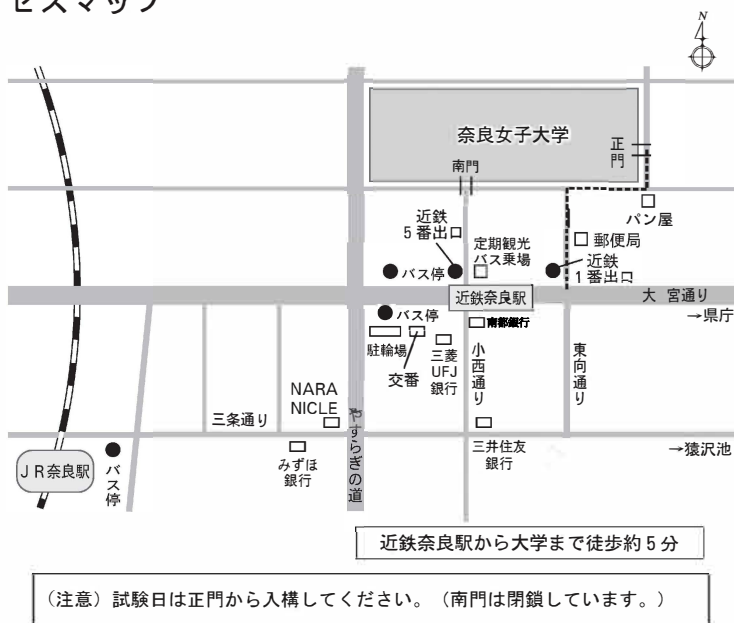
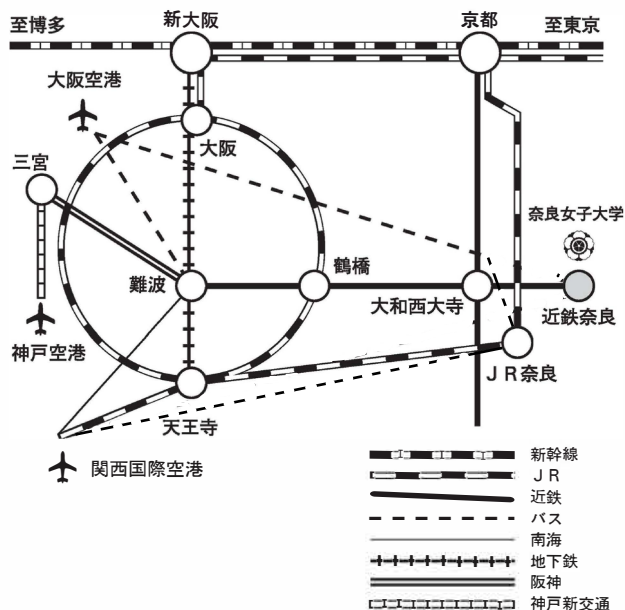
下表から希望する研究分野の記号 A～D をひとつ選んで志願票に記入してください。その分野に対応する専門科目を受験することになります。各分野の指導教員については担当教員欄を参照してください。

専門科目	分野	担当教員※ 1
A. 生体医工学	生理学, 運動学, 生体工学 認知神経科学, 健康工学 生体力学, 人間医工学	教 授 芝崎 学 教 授 中田 大貴 専任講師 大高 千明
B. 情報	生活に関連する人間情報学及び H I, ウェアラブルコンピューティング 機械学習, データマイニング, データ解析 触感情報伝達, バーチャルリアリティ, 五感インタフェース 人間情報学, 福祉工学, 医療情報, ウェアラブルデバイス	教 授 才脇 直樹 教 授 吉田 哲也 准教授 佐藤 克成 専任講師 安在 絵美
C. 人間環境	建築設計, 都市・建築デザイン 造形美術, 造形教育 建築環境工学, 人間工学, 住環境学, 環境共生	教 授 長田 直之 教 授 長谷 圭城 教 授 佐々 尚美
D. 材料工学	高分子・繊維材料, 高分子構造・物性 機能性金属錯体, 生物有機化学, グリーンケミストリー 高分子材料, ゲル, 有機機能材料 無機固体材料, 電気化学デバイス材料 有機色素, 光機能性分子, 超分子化学	教 授 黒子 弘道 教 授 三方 裕司 准教授 大背戸 豊 准教授 山本 健太郎 助 教 庄司 淳

※1. 担当教員による指導体制（主指導教員）については、下記教員に問い合わせてください。

中田 大貴 教授 hiroki-nakata@cc.nara-wu.ac.jp

アクセスマップ



京都から

近鉄京都線（急行）で近鉄奈良まで約45分+ **徒歩約5分**

新大阪から

JR東海道本線で大阪駅へ、JR大阪環状線（外回り）で鶴橋へ、近鉄奈良線（快速急行・急行）で近鉄奈良まで約60分+ **徒歩約5分**

大阪から

JR大阪環状線（外回り）で鶴橋へ、近鉄奈良線（快速急行・急行）で近鉄奈良まで約50分+ **徒歩約5分**

難波から

近鉄奈良線（快速急行・急行）で近鉄奈良まで約35分+ **徒歩約5分**

天王寺から

JR大和路快速でJR奈良まで約30分+近鉄奈良までバス5分+ **徒歩約5分**

JR大阪環状線（内回り）で鶴橋へ、近鉄奈良線（快速急行・急行）で近鉄奈良まで約45分+ **徒歩約5分**

大阪空港から

空港バスでJR奈良まで約80分+近鉄奈良までバス5分+ **徒歩約5分**

空港バスで難波へ、近鉄奈良線（快速急行・急行）で近鉄奈良まで約70分+ **徒歩約5分**

関西空港から

空港バスでJR奈良まで約100分+近鉄奈良までバス5分+ **徒歩約5分**

南海空港急行で難波へ、近鉄奈良線（快速急行・急行）で近鉄奈良まで約110分+ **徒歩約5分**

JR関空快速で天王寺へ、JR大阪環状線（内回り）で鶴橋へ、近鉄奈良線（快速急行・急行）で近鉄奈良まで約100分+ **徒歩約5分**

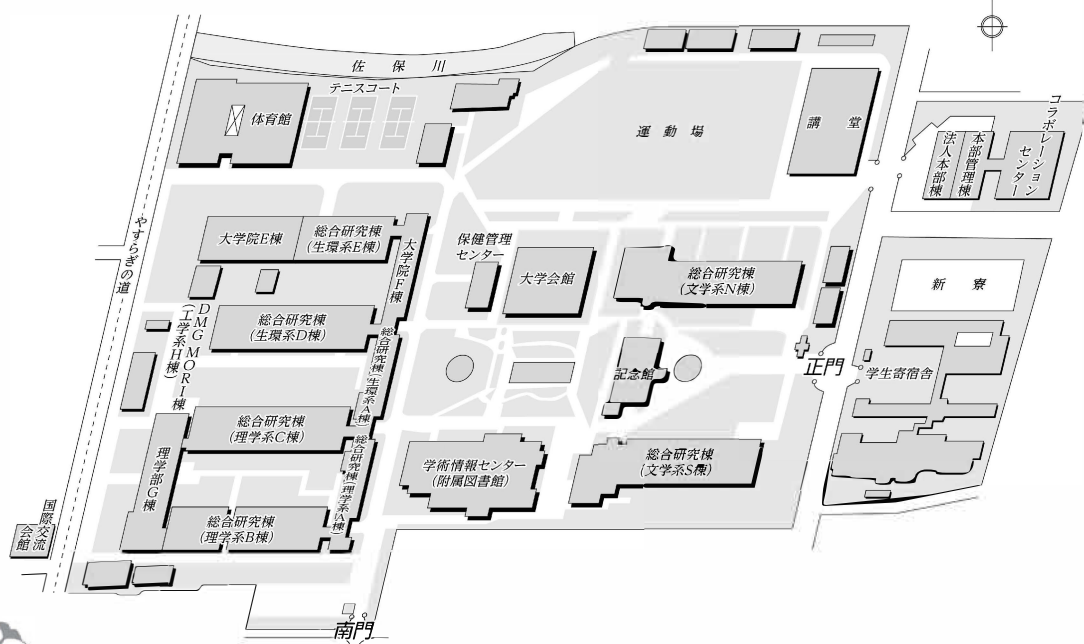
三宮から

阪神なんば線・近鉄奈良線（快速急行）で近鉄奈良まで約80分+ **徒歩約5分**

神戸空港から

神戸新交通ポートアイランド線で三宮へ、阪神なんば線・近鉄奈良線（快速急行）で近鉄奈良まで約100分+ **徒歩約5分**

キャンパスマップ



奈良女子大学
Nara Women's University

奈良女子大学ホームページ
入試案内ページ

<https://www.nara-wu.ac.jp/>
<https://www.nara-wu.ac.jp/entrance.html>